

「ふくい観光ビジョン」(R2.3月策定)に基づく主な施策の実施状況

資料 1

1、戦略の柱

基本戦略 1：観光で「稼ぐ」

DMOを中心に観光のプレイヤーを発掘・育成し、ターゲットにあわせて観光資源を磨き上げ、新たなコンテンツを造成するなど、地域一体となって観光客の心をつかむ魅力づくりを推進

基本戦略 2：観光で「ブームを起こす」

北陸新幹線福井・敦賀開業など今後迎える誘客拡大の好機を最大限活かし、ブームを創出。また、ブームを一過性で終わらせないよう、個々の資源のストーリーの発掘・発信を通じて魅力を高め、ムーブメントにつなげる。さらには、これらを誰もが認める「ふくいブランド」として確立し、文化へと高める

基本戦略 3：観光で「世界を魅了する」

関西・京都、北陸など、外国人観光客の多い周辺地域からの誘客も重視しながら、国・地域のニーズに応じた情報発信やコンテンツの充実、インバウンド目線の受入環境整備など、外国人の心に訴える「攻め」のインバウンド施策を展開

基本戦略 4：観光で「心を満たす」

安全・安心で快適な旅行環境や感動するおもてなし体験の提供などにより、観光客の満足度を向上。観光地までの二次交通の充実や、SDGsの理念に沿った住民の暮らし・豊かさの維持向上につながる持続可能な施策の展開など、すべての人にやさしい環境を整え、地域社会と観光との共生を図る

2、計画期間

令和2年度～6年度（5年間）

3、目標の達成状況

	平成30年	目標値 (令和6年)	令和5年時点
観光消費額	1,313億円	1,700億円	1,225億円
観光客入込数	1,697万人	2,000万人	1,760万人
延べ宿泊者数	406万人	510万人	324万人
外国人延べ宿泊者数	7.6万人	40万人	6.5万人
来訪者満足度	46%	60%	52%

基本戦略 1 観光で「稼ぐ」

○選ばれる観光地へ

- ・代表的観光地 東尋坊のスケールアップ（駐車場一元化、商店街リニューアル等）（R2～）
- ・あわら温泉街の魅力創出に向けた、官民一体の整備計画策定（R5）
- ・星野リゾートとの協定締結による、勝山市へのリゾートホテル誘致（R4～）
- ・多様な宿泊ニーズに応える89件の民宿リニューアル（R2～R5）
- ・県内6DMOが観光プレイヤーを牽引、サミットの毎年開催により観光機運醸成（R3～）
- ・魅せる工場見学や多彩な体験メニューなど、産業観光の拠点となる15店舗、産地全体の情報発信機能を担う4施設の整備（R2～）
- ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館をオープン（R4）
- ・恐竜博物館をリニューアルオープン（R5）

○魅力あふれる嶺南地域へ

- ・レインボーライン山頂公園再整備（山頂カフェ、山麓レストラン増築等）（R3）
- ・三方五湖レイクセンター建設、電池推進遊覧船2隻整備（R5）
- ・JR西日本が観光列車「はなあかり」を小浜線で運行（R6.10予定）
- ・若狭湾サイクリングルートの路面表示やゲートウェイなど走行環境整備（R3～R6）

○スポーツツーリズムの推進

- ・ふくい桜マラソン2024に県内外から13,657人のランナーが参加（R5）
- ・日本スポーツマスターズ2023福井大会へ約7,500人が来場（R5）
- ・福井を代表するふくい県民応援チーム『FUKUI RAYS』の活動支援（R2～）

○文化の継承・観光活用

- ・「越前海岸の水仙畑の文化的景観」の整備、人材育成等を支援（R3～）
- ・御食国若狭と鯖街道が日本遺産プレミアムに選定（R6）
- ・一乗谷朝倉氏遺跡および大本山永平寺について、文化観光推進法の認定計画に基づき事業を実施（R3～）

○頑張る事業者へ活力を

- ・観光地域づくり推進マネージャー、スーパーバイザーなど観光地域づくりを進める人材を観光連盟に配置、延べ51団体のプレイヤーを支援（R3～）
- ・観光地でのアンケートデータなどをオープンデータとして提供する観光マーケティングプラットフォーム「FTAS」を公開（R3～）

○みんなで観光のイノベーションを

- ・観光ビジネスに取り組むプレイヤー等を育成する観光アカデミーに「地域マネジメントコース」と「観光ビジネス創造コース」を開講し延べ136人受講（R2～）
- ・県、仁愛大学、越前市、県観光連盟の4者で観光人材の育成に関する協定締結し、観光学特別講座や学生向けの職場視察ツアー等を実施（R5～）

「ふくい観光ビジョン」(R2.3月策定)に基づく主な施策の実施状況

基本戦略2 観光で「ブームを起こす」

○心惹かれる情報を届ける

- ・北陸新幹線開業1年前をPRするテレビドラマを制作、県内TV局・動画配信サービスで県内外に発信 (R4)
- ・福井駅から若狭和田ビーチまでを自転車、電車、クルマといった異なる交通手段で移動し、福井県の魅力を実感するストーリー仕立ての動画をYouTubeで配信し、150万回以上視聴 (R4～)
- ・丸の内周辺において北陸新幹線開業カウントダウンイベントを連続的に実施 (R4～)
- ・開業日に県内各駅で開催した記念イベントには延べ約192,000人が来場 (R6)
- ・首都圏北部において開催した恐竜・食などのイベントや物産展がマスコミ等で紹介(約2,819万View) (R4～)
- ・越前市に「光る君へ 越前 大河ドラマ館」をオープンし、7万人以上が来館 (R6.2)
- ・福井県フィルムコミッションによるロケ支援を90件実施 (R4～)
映画「おしよりん」(R5.10公開)、映画「罪と悪」(R6.2) など

基本戦略4 観光で「心を満たす」

○快適性を高める観光インフラの整備

- ・民宿リニューアルについて89件支援 (R2～)
- ・旅の目的となる上質な民宿整備を3件支援 (R4～)
- ・宿泊機能付きレストラン(オーベルジュ)を2件支援 (R4～)
- ・観光地約90か所にQRコードを設置し観光客へのアンケート調査実施 (R3～)

○交通アクセスの向上

- ・主要観光地を周遊する観光バス「はぴバス」の運行開始 (R6～)
- ・福井駅と恐竜博物館を直通で繋ぐ恐竜バスの運行を開始 (R2～)
- ・あわら恐竜号(あわら温泉ー恐竜博物館直通)の運行開始 (R6～)
- ・車内で仮想体験ができるXRバス(福井駅ー乗谷朝倉氏遺跡・あわら温泉・恐竜博物館直通、あわら温泉周遊)の運行開始 (R6～)
- ・路線バス(県内92.3%)に交通系ICカードの導入を支援 (R4～R5)
- ・タクシーへの配車アプリ導入 (R5～R6、県内56.1%)や交通系ICカード対応キャッシュレス端末の導入 (R6、県内70.2%)支援 (R5～R6)
- ・福井鉄道・えちぜん鉄道への交通系ICカード導入を支援 (R5～R6)
- ・増便・快速運行などハビラインふくいの利便性向上 (R6.3)

○おもてなし機運の醸成

- ・県民や事業者による「おもてなし宣言291」1,270件登録 (R2～R5)
- ・サービス品質に見える化するため、国指定の認定機関が管理する「おもてなし規格認証」について、県がセミナー実施し県内111事業者の紅認証取得を支援 (R3～)
- ・駅周辺や観光拠点周辺の店舗の改修・設備導入を92件、商品開発を6件支援 (R2～)

基本戦略3 観光で「世界を魅了する」

○国・地域に応じた情報発信

- ・ZENをテーマにフランスで観光イベントを開催、現地メディア2社や旅行会社2社を招聘 (R4～)
- ・マラソン人口の多い台湾をターゲットに出展した現地展示会へ2万人以上来場 (R4)
- ・サイクリングの人気の高い台湾・香港をターゲットに、有名サイクリスト、専門誌記者、インフルエンサーを6名招聘。台湾のサイクリングイベントに県観光PRブースを出展 3,500名来場 (R5)
- ・新たなインバウンド市場として、フィリピン、ベトナムをターゲットにグルメなど国民性に合わせた情報を発信 (R4)
- ・フィリピンの芸能人を1名招聘し、SNSにて情報発信 (R4)
- ・国・地域別に異なる旅行者層などを意識し、福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」の外国語ページを刷新 (R3)

○近隣府県等からの誘客強化

- ・大阪観光局と連携協定を締結し、同社のウェブページで大阪発の広域周遊モデルコースを発信 (R5)
- ・中央日本総合観光機構、石川県、岐阜県と共同でタイの旅行会社(10社)を招聘し、関西空港を出発し、三県を周遊後、中部空港から出国する広域ルートを発信 (R5)

○外国人に刺さるコンテンツづくり

- ・ZENをテーマとしたモデルプランを3件作成し、フランスでPRイベント実施 (R4～)
- ・台湾で人気のあるサイクリングをテーマに、台湾から業界紙の記者やサイクリング協会関係者を6名招聘し、若狭湾サイクリングルートを含むモデルコースをPR (R5)
- ・伝統芸能をアレンジしたショーなど夜間観光コンテンツを造成 (R6)

○世界基準のおもてなしを

- ・市町と協働し、多言語案内看板や無料Wi-Fi等の整備に対し11件支援 (R2～)
- ・免税カウンターの整備を2件支援 (R2～)
- ・個別事業者が免税店の登録・導入に要する費用を全額支援 (R6)
- ・キャッシュレス決済対応機器の導入に要する費用を全額支援 (R6)
- ・インバウンドアドバイザーによる個別店舗訪問による助言(延べ約1,400件)や外国人による模擬接客体験の実施(R3～)
- ・通訳案内士への実地研修3回実施(R3～)